

Anders Hamsten博士がカロリンスカ医科大学長に就任

2013年1月にAnders Hamsten博士が21代目のカロリンスカ医科大学に就任し、同25日、前Harriet Wallberg-Henriksson学長との交代記念シンポジウムおよび交代式が開催された。

同シンポジウムには2003年のノーベル化学賞受賞者Peter Arge博士や欧州委員会のAnne Glover博士らが講演を行った。

Anders Hamsten氏の在任中、若手研究者の研究活動の保障など、アカデミックキャリアの明確化と強化を目指し、大学をより研究者にとって魅力のあるものにしていくこと、また、創造的、活動的で熱意のある学生を獲得し続けるような、基礎教育の質を高めることを目指している。

「私は臨床の研究者、医師として30年以上の経験を有しており、カロリンスカ医科大学と医療システムの相互作用の発展に寄与することができるだろう」

任期は2018年12月31日まで。



略歴

- 1978年 カロリンスカ医科大学卒業
- 1981年 MD取得
- 1986年 PhD取得
- 1987年 Assistant Professor (at KI)
- 1999-2007 カロリンスカ医科大学医学部長
- 2004-2007 カロリンスカ医科大学病院
Head Thoracic Vascular 部門長

(参考)

カロリンスカ医科大学

<http://ki.se/ki/jsp/polopoly.jsp?d=130&a=157639&en&newsdep=130>

スウェーデン高等教育関係機関の統合

2013年1月1日より高等教育関係機関の統合により、以下の2機関が新設された。

- ①The Swedish Higher Education Authority
- ②The Swedish Council for Higher Education

この統合には、これまであった高等教育関係3機関を2機関にすることで、業務範囲をより明確化し、合理的にさせるというスウェーデン政府の目的によるものである。

各団体の具体的な取組は以下のとおり。

①The Swedish Higher Education Authority

旧機関The Swedish National Agency for Higher Educationの中の、主要な役割を引き継ぐ。

- 高等教育の質の評価
- 大学やカレッジの監督
- 教育に関する統計調査

University Chancellor: Lars Haikola

(2010年から旧The Swedish National Agency for Higher Educationの長)

②The Swedish Council for Higher Education

旧機関The Swedish National Agency for Higher Educationのその他の役割と、旧機関The International Program Office for Education and Trainingおよび旧機関The Swedish Agency for Higher Education Servicesが統合し、以下の役割を引き継ぐ。

- 高等教育へのアドミッションサービス
- 高等教育の広報
- 外国教育の評価
- 教育関係の国際活動のサポート
- 北欧-ヨーロッパの役人交換プログラム
- 差別の撤廃活動

Chairman: P-O Rehnquist (元ヨーテボリ大学理事)
Former University Director, Gothenburg University,

(参考)

The Swedish Higher Education Authority

<http://www.uk-ambetet.se/2.782a298813a88dd0dad80007209.html>

The Swedish Council for Higher Education

<http://www.uhr.se/sv/>

The Swedish National Agency for Higher Education

<http://www.hsv.se/nyamyndigheter/>

リサーチカウンシルの2013年度助成金の発表

スウェーデンリサーチカウンシルの2013年主な助成金一覧の発表があった。

スウェーデンリサーチカウンシルは、スウェーデン国内最大のファンディングエージェンシーで、科研費を配分している日本学術振興会と類似団体である。

助成金には、一般的な科研費のほか、国際会議経費、国際交流経費、ポストクの海外派遣プログラム、教授招へいプログラムなどがある。

また、今後も状況に応じて順次追加のアナウンスメントがなされる予定である。

(参考)

スウェーデンリサーチカウンシル2013ファンド一覧
<http://www.vr.se/inenglish/researchfunding/ourgrants2013.4.44482f6612355bb5ee780002186.html>

欧州未来新興技術フラッグシップに、チャルマーシュ工科大学を採択

欧州委員会は、欧州未来新興技術（FET）フラッグシップに、スウェーデンのチャルマーシュ工科大学に2013年に立ち上げられる「グラフェン・フラッグシップ」を採択したことが1月28日、チャルマーシュ工科大学のプレスリリースと当地ダーゲンス・ニーヘーテル紙の関係記事により発表された。欧州未来新興技術（FET）フラッグシップは、欧州委員会が当初10年間にわたり総額10億ユーロの支援を行うものである。

グラフェン・フラッグシップはチャルマーシュ工科大学により主導されることとなっており、スウェーデンの研究機関としては他にカロリンスカ医科大学、リンショーピン大学、ウメオ大学が参加する。グラフェンは電子ペーパーや折り曲げ可能な個人用通信機器、より軽く燃費のよい航空機の開発、長期的には新たなコンピューター工学のパラダイムや人工網膜のような革命的な医療応用につながるものと考えられている。

(参考) チャルマーシュ工科大学

<http://www.chalmers.se/en/news/Pages/Graphene-appointed-an-EU-Future-Emerging-Technology-flagship.aspx>